

よりよい町内会づくりへの第一歩

上町町内会会長 高橋 行雄さんのことば

町の協力をいただきながら、住民たちが自らの手で生活支援に取り組む組織「共助のまち上町町内会推進委員会」を立ち上げ、町内会と連携しながら活動しています。

まだ手探りの状態ではありますが、住民からはごみ出し以外にも買い物や除雪などのさまざまな支援を求める声が挙がっており、地域での支え合いに対する期待度が高まっていると感じています。

今後も住民のニーズに耳を傾けながら、自助、互助、共助、公助の四位一体の支え合いのまちづくりを目指し、町内会の活性化につなげていきたいと思ひます。



▲委員会のメンバー（1列目左から4番目が高橋会長）

上町町内会ごみ出し支援開始までの流れ

「共助のまち上町町内会推進委員会」が発足(令和2年8月)



住民の中から公募や推薦で「共助推進委員」を選出。委員会の中でごみ出し支援のやり方やルールを決めた。

◀委嘱状を手渡される委員

支援協力員と利用希望者を募集

町内会の広報紙でごみ出し支援活動を紹介し、住民の中からごみ出しを手伝ってもらう「支援協力員」と、支援を希望する利用者を募集。それぞれ数人から応募があった。



～ごみ出し支援のルール～

- 利用者と担当の支援協力員が訪問日時を話し合う
- 支援協力員は利用者が希望する日時に自宅を訪問
- 支援協力員がごみ袋をごみステーションに運ぶ(ごみの分別は利用者が行う)
- 町内会は支援協力員に謝礼を支払う(利用者には負担のからない有償ボランティア)

一緒に考えましょう「支え合い」「助け合い」のまちづくり



▲上町町内会で始まったごみ出し支援の取り組み

高齢社会を迎え、本町でも65歳以上の高齢者が人口の3割を超える状況になっています。高齢者だけの世帯も多く、日常生活の困りごとや、今後の生活の見通しに不安を抱える方が増加しています。

本町では、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる社会の実現に向けて、「住民が主体となって支え合うまちづくり」を推進しています。こうした中、町の地域包括支援センターと連携し、取り組みをスタートさせた町内会を紹介します。

地域で増えている高齢者の困りごと

近年、核家族世帯の増加や、近隣住民との関係の希薄化などを背景に、身近に頼れる人が居ないという高齢者が増えています。

「電球交換や灯油詰め、ごみ出しが大変」「車を運転できないので家族がいらない日中は外出が難しい」「体力がなく除雪ができない」などの声が多く聞かれるようになりました。

今だからこそ必要な「互助」「共助」

これからの高齢者支援は、介護保険サービスだけでなく、地域の方々による「お互いさま」の助け合いが求められています。

町が設置した生活体制整備協議体(愛称「支え合いの町・みかわ会議」)では、買い物や外出支援など高齢者が抱える問題を共有し、支え合いの仕組みづくりを検討してきました。

その中で、モデル的に取り組む団体の必要性が示され、上町町内会がモデル町内会として「支え合いの仕組みづくり」に先駆けて取り組むことになりました。

地域の課題を「みんなの課題」に

上町町内会では、日ごろから住民同士が交流を図る活動に積極的に取り組んでいます。その一方で、日常生活の困りごとや、高齢者サロンのような通いの場の担い手不足といった課題を抱える住民の声を聞くことが多くありました。

こうした課題を解決するため、上町町内会では全戸にアンケートを実施しました。その結果、地域での支え合いの必要性を感じる住民や、支援を行うことに前向きな住民の意識を確認することができました。

そこで、実際に自分たちができる生活支援のあり方を検討するため、町の地域包括支援センターの支援を受けながら議論を重ねてきました。

次第に、「自分たちの地域の誰もが安心して暮らせるようにしよう」という意識が高まり、「まずはできることから」という考えのもと、今年9月から「ごみ出し支援と見守り」の取り組みをスタートさせました。

みかわの支え合いと地域づくりを考える研修会を開催

11月21日(土)、テオトルで生活を支援する仕組みづくりについて考える研修会を開催されました。

この研修会では、酒田市黒森で空き家になった古民家を活用した居場所づくりに取り組む「古民家玉手箱」の小林順子代表による講話のほか、上町町内会のごみ出し支援と見守りの事例発表が行われました。

参加者からは、「三川にも空き家がたくさんあるので、居場所づくりを活用できるのではないか」「上町町内会の取り組みに共助の原点を感じた」「高齢化が進み、手助けが必要な家庭は増えていると思う。自分一人だけでは進まないのて話し合いの場が必要と感じた」といった声が多く寄せられました。

一方で、「ごみ出しや除雪などの手伝いはできるが、相手が気兼ねする



▲上町町内会による事例発表



▲古民家玉手箱 小林順子代表による講演

ことも多く、自主的にはやりづら」という意見も出されました。

この研修会は、自分の住む地域がどんな課題を持っていて、将来に向けてどう解決を図るのかを考えるきっかけになったようです。

広げよう支え合い・助け合いの輪

地域の支え合い活動は、個人や町内会、組織・団体、民間企業など誰もが担い手となって取り組めるものです。

町では、より良いコミュニティづくりにつながるこの活動を支援し、今後も高齢者がいきいきと元気に安心して暮らせる地域づくりを推進していきます。こうした活動に興味のある方は、ぜひ気軽に相談ください。

問合せ先

三川町地域包括支援センター(役場健康福祉課内) ☎35-7031